

(様式 1 - 1)

日常点検チェックリスト

—警報表示盤—

	良否	対策事項
(ア) 表示灯、ランプカバー等の損傷がないこと。		
(イ) ガス供給の正常を示す緑灯が点灯すること。		
(ウ) 可聴警報が作動すること。また、警報の消音又は弱音の機能が作動すること（テストボタンによる確認でもよいものとする）。		
(エ) 警報作動時の黄灯又は赤灯が点灯すること（テストボタンによる確認でもよいものとする）。		

実 施 日	:	年	月	日
実 施 責 任 者	:			印
医療ガス安全管理委員長	:			印

(様式 1 - 2)

日常点検チェックリスト

—供給設備（マニフールド、定置式超低温液化ガス貯槽（C
E））—

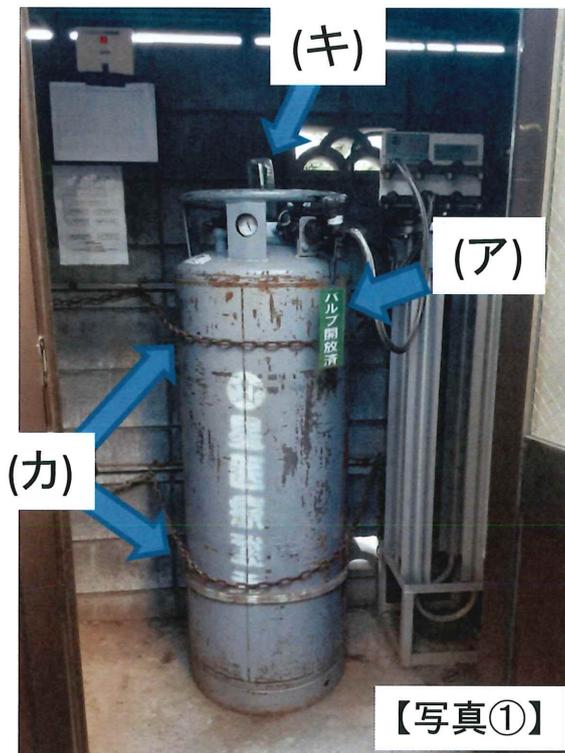
	良否	対策事項
(ア) 弁には常時、開閉の表示がされていること。また、その表示が正しい状態になっていること。		
(イ) 各機器においてガス漏れの音がしないこと。		
(ウ) 圧力計及び液面計の指示値が正常範囲内であること。酸素ガスにあつては、他のガスより送気圧力が30kPa程度高くなっていること。		
(エ) 警報装置の表示灯に損傷がないこと（高圧ガス容器交換時には点灯及び消灯の作動を確認すること。）。		
(オ) 連結導管にねじれ、凹み及び折れがないこと。		
(カ) 高圧ガス容器の転倒又は移動防止装置にゆるみなどの異常がないこと。		
(キ) 医療ガスの残量が十分であること（機器に内蔵された圧力計、重量計等で確認すること。）。		
(ク) 液化ガスの場合、平常時に比べて異常な霜付きがないこと。		
(ケ) 各機器において異常なガス流音又はその他の異常音がないこと。		

実 施 日	:	年	月	日
実 施 責 任 者	:			印
医療ガス安全管理委員長	:			印

(様式 1-2)

日常点検チェックリスト

-供給設備(マニフォールド、CE)-



(ア)弁には常時、開閉表示表示が正しい状態か【写真①】

(イ)各機器のガス漏れ音がしないこと
⇒ガス漏れのシュー音の有無

(ウ)圧力計、液面計の指示値が正常範囲内であること。【写真②】
⇒容器圧力0.8~1.2、配管圧力0.4~0.44

(エ)警報表示の表示灯の損傷がないこと。交換時には点灯及び消灯の確認をする。【写真②】

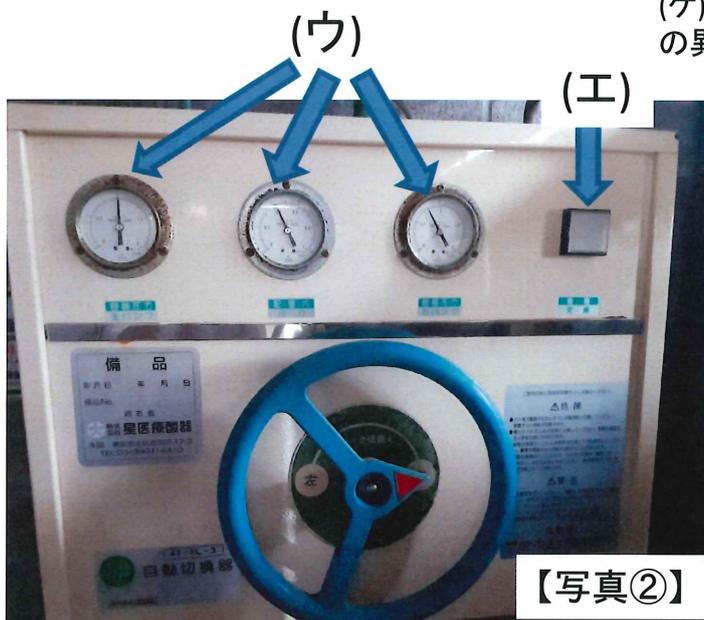
(オ)連結導管にねじれ、凹み、折れが無いこと
⇒配管の折れやフレキシブルホースの損傷有無

(カ)高圧ガス容器の転倒防止装置にゆるみなどの異常がないこと。【写真①】

(キ)医療ガスの残量が十分か【写真①】
⇒使用側と予備側の液面計フロート位置

(ク)液化ガスの場合、平常時に比べて異常な霜付が無いこと【写真③】

(ケ)各機器において異常なガス流音又はその他の異常音が無いこと



※酸素使用時の霜付状態(平常時)